

進路だより

2019年 第1号

大阪市立堀江中学校

修学旅行や1学期の中間テストも終わり、6月となりました。

3年生としての行事が進み、やっと最高学年としての実感が湧いてきたのではないのでしょうか。中学校を卒業すれば、就職にしても進学にしても大人への第一歩を踏み出すことになります。一人で『進路』に立ち向かうのは不安だと思いますが、不安な気持ちや悩みを持つのは誰もが同じ。この一年は、今まで以上にお互いを思いやる気持ちや支え合う気持ちが大切になります。このクラスをすばらしいクラス、すばらしい学年集団にしてください。仲間とともに悩み、支え合い、それぞれが自分の進むべき道を見つけだしてくれることを期待しています。

進路に向けてスタート

3年生が始まり“今年がんばるぞ”という意欲に燃えているのではないのでしょうか。その意欲をどのように継続し、具体的に実行に移していくかが、自分の夢・目標を見つけて実現に踏み出すカギになってきます。

○前向きに進路に向けて取り組もう

義務教育の9年間は、決められたレールの上を走ってきましたが、中学校卒業後はそれぞれが別の道を選んで歩いていくことになります。その道は担任の先生、保護者、生徒の三者で相談を重ねて決定していく（中学校では進路委員会を組織し、一人ひとりの進路について議論します）わけですが、一番大切になるのは生徒本人が自分の進路に向けて積極的に考え行動していくことです。周囲に任せるのではなく、今の自分の立場をしっかりと自覚して欲しいものです。

○近い将来、遠い将来、2つの見通しを持つことが理想

進路を考えると、すぐ中学校卒業後の行き先ということが頭に浮かびますが、その先には長い長い人生があります。自分の人生と卒業後の進路は当然深い関連があり、切り離して考えられるものではありません。遠い将来、自分はどのような人生を歩んでいきたいかしっかり考え、それに応じて近い将来の道を探して欲しいものです。

○進路について知ろう

進路を考えるためには、進路について知ることが不可欠です。人それぞれの個性に違いがあるように職業や上級学校についてもその種類や内容に、いろいろな違いがあります。中学校からの情報だけでなく、先輩や身近な人からの情報など自分からも進路について“知る努力”をしてください。

○計画的な学習をしよう

高校入試には1, 2年生で習ったことも出題されます。非常に広範囲の学習に取り組まなければなりません。もちろん、中学校で実施する計5回の実力テストも同様です。すぐには結果に結びつきにくいので、早めに取り組むことも大切です。

計画的に学習をしていきましょう。最高学年としてクラブ活動などと両立して頑張ってください。

